資料２

特別支援学校設置場所の検討状況

設置場所選定の条件

市立特別支援学校の設置には、既存の学校施設（空き教室等）も活用し、不足する教室については増築により確保する必要があることから、設置場所の設定に当たっては、３つの条件で併置校の検討を行います。

条件１　市北部方面への設置

① 松本養護学校及び寿台養護学校が市南部に立地していることから、市立特別支援学校は、市北部方面からのアクセスを重視
② 日常的な地域交流の視点から、小中高校・大学、商業施設などに近い市街地とする（県内の多くの特別支援学校が都市部郊外に立地）。

条件２　校舎増築場所の確保

不足する教室は増築により対応。必要な増築部分は、既存校舎との接続を重視し、増築棟が建設できる敷地を確保

条件３　中学部の検討（同学年と継続して学ぶ）

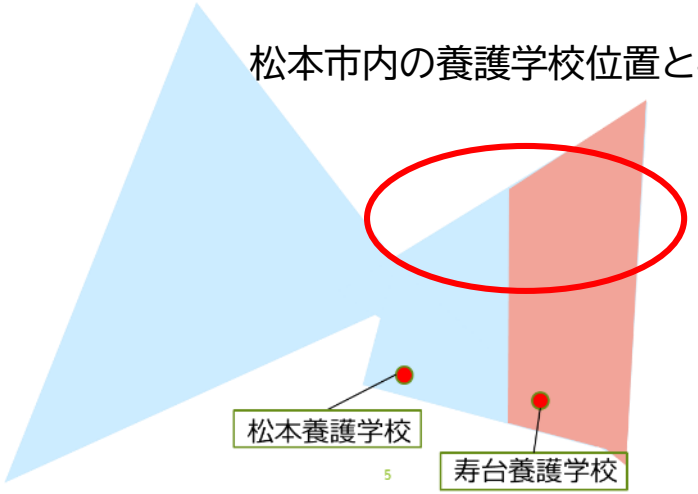
① 同学年での学び合いができる環境とするため、特別支援学校の小学部は小学校に併置、中学部は中学校へ併置
② 友人関係が継続するよう、小学校の卒業生が多く進学する中学校に中学部を設置（小・中学校間の接続）

条件１　市北部方面への設置

① 松本養護学校及び寿台養護学校が市南部に立地してることから、市立特別支援学校は、市北部方面からのアクセスを重視

〇市北部に立地する９校の小学校が検討対象

開智小学校、源池小学校、旭町小学校、
田川小学校、清水小学校、島内小学校、
岡田小学校、本郷小学校、山辺小学校



② 日常的な地域交流の視点から、小中高校・大学、商業施設などに近い市街地とする。
（県内の多くの特別支援学校が都市部郊外に立地）

〇９校の小学校のうち、
市街化区域に位置する７校の小学校が検討対象

〇市街化区域に位置している学校　判定〇

開智小学校、源池小学校、旭町小学校、
田川小学校、清水小学校、岡田小学校、
本郷小学校

〇立地環境が市街化調整区域又は市街化調整区域に接している学校

山辺小学校、島内小学校　判定△

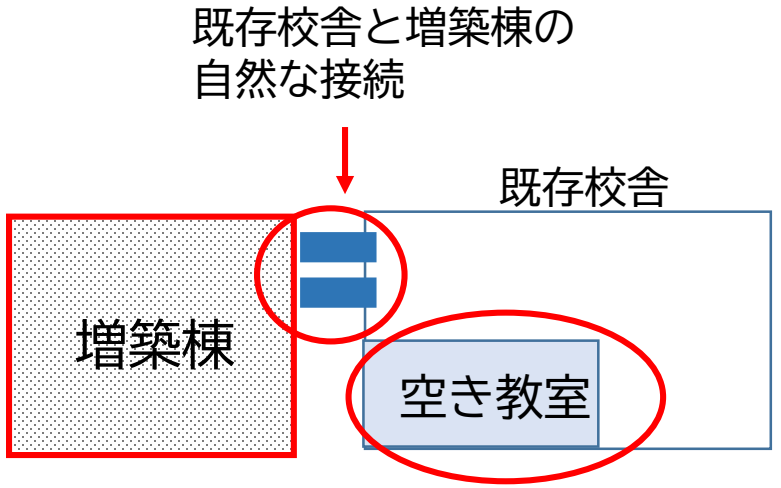
条件２　校舎増築場所の確保

不足する教室は増築により対応。必要な増築部分は、既存校舎との接続を重視し、増築棟が建設できる敷地を確保

○７校の小学校のうち、開智小、源池小及び岡田小の３校の小学校が検討対象

増築場所の有無による候補校

	増築場所	【参考】プール整備事業計画 ※1	【参考】空き教室の見込み ※2
開智小学校	○	プール廃止済み	３教室
源池小学校	○	プール廃止予定	２教室
旭町小学校	×	プール廃止予定	
田川小学校	×	プール廃止予定	
清水小学校	×	継続予定	
岡田小学校	△	継続予定	なし
本郷小学校	×	継続予定	



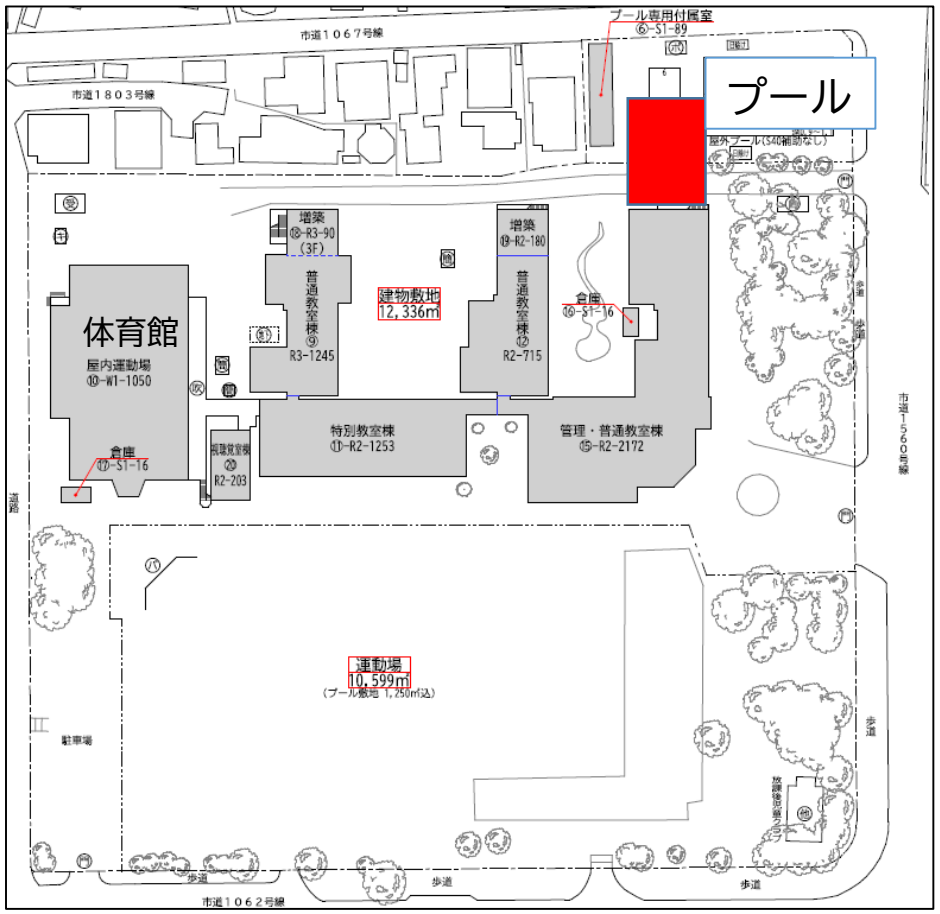
※１　プール廃止後は民間施設の利用を検討
※２　空き教室の見込みはＲ５年度調査による

条件２　校舎増築場所の確保

ア　開智小学校　判定○

◎学校プール廃止済みのため、プール跡地へ増築することで、教室棟への接続が可能

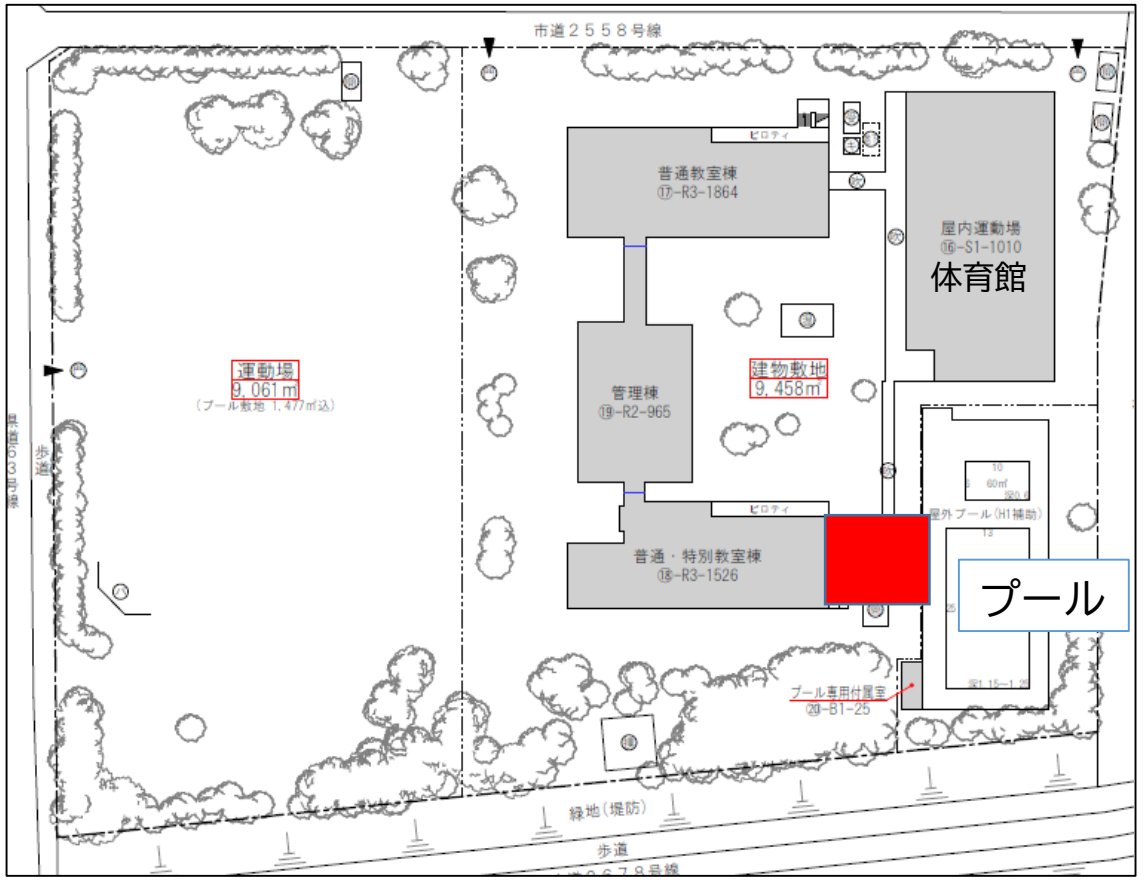
校舎配置から想定される増築場所



イ　源池小学校　判定○

◎学校プール廃止予定のため、プール跡地へ増築することで、教室棟への接続が可能

校舎配置から想定される増築場所

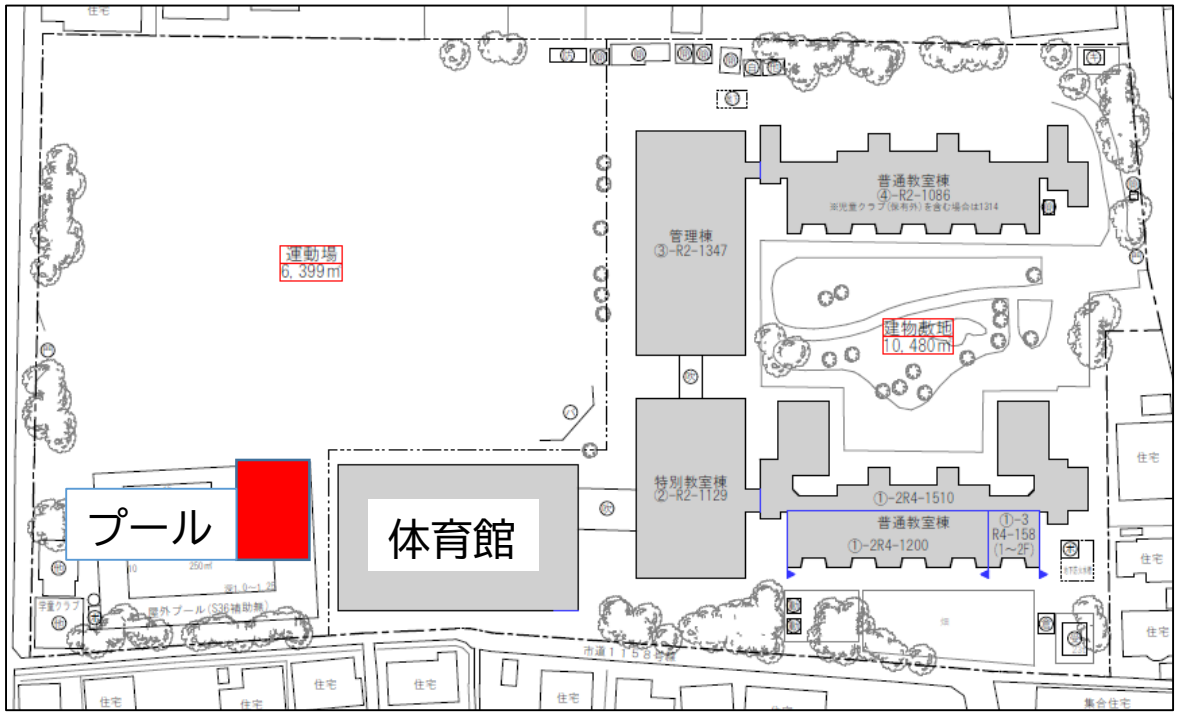


条件２　校舎増築場所の確保

ウ　旭町小学校　判定×

×学校プール廃止予定であるが、プール跡地への増築では、教室棟への接続性が確保できない。他の増築スペースなし。

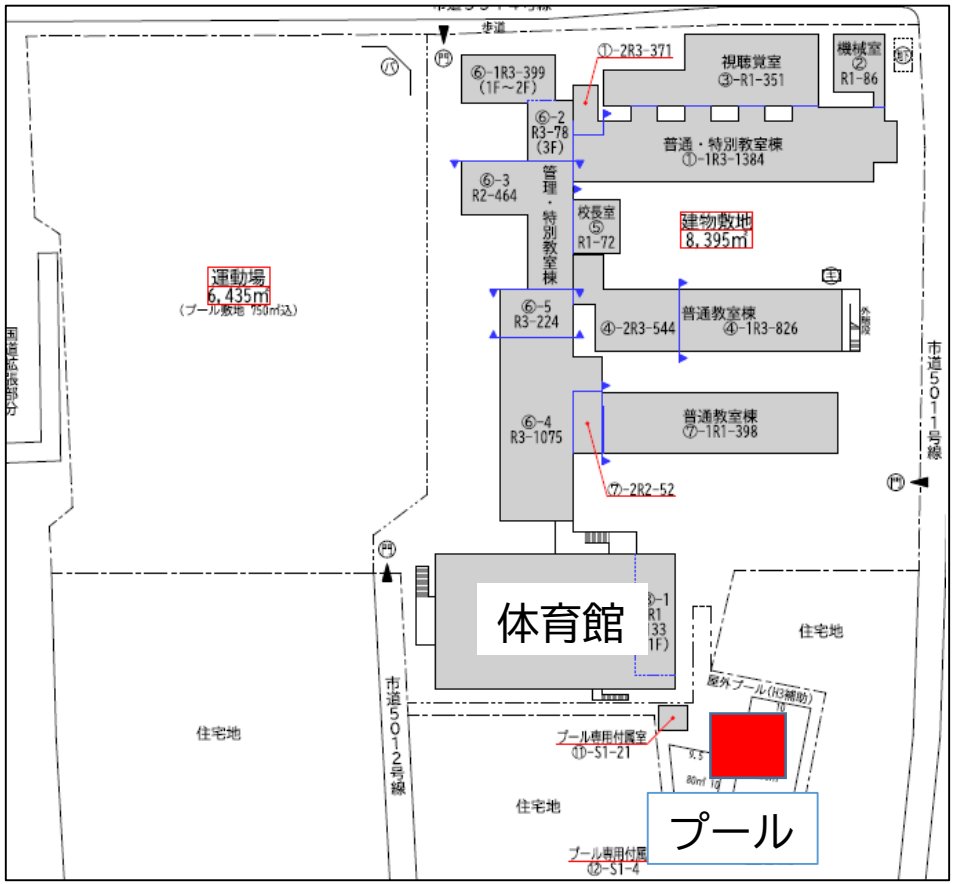
校舎配置から想定される増築場所



エ　田川小学校　判定×

×学校プール廃止予定であるが、プール跡地への増築では、教室棟への接続性が確保できない。他の増築スペースなし。

校舎配置から想定される増築場所

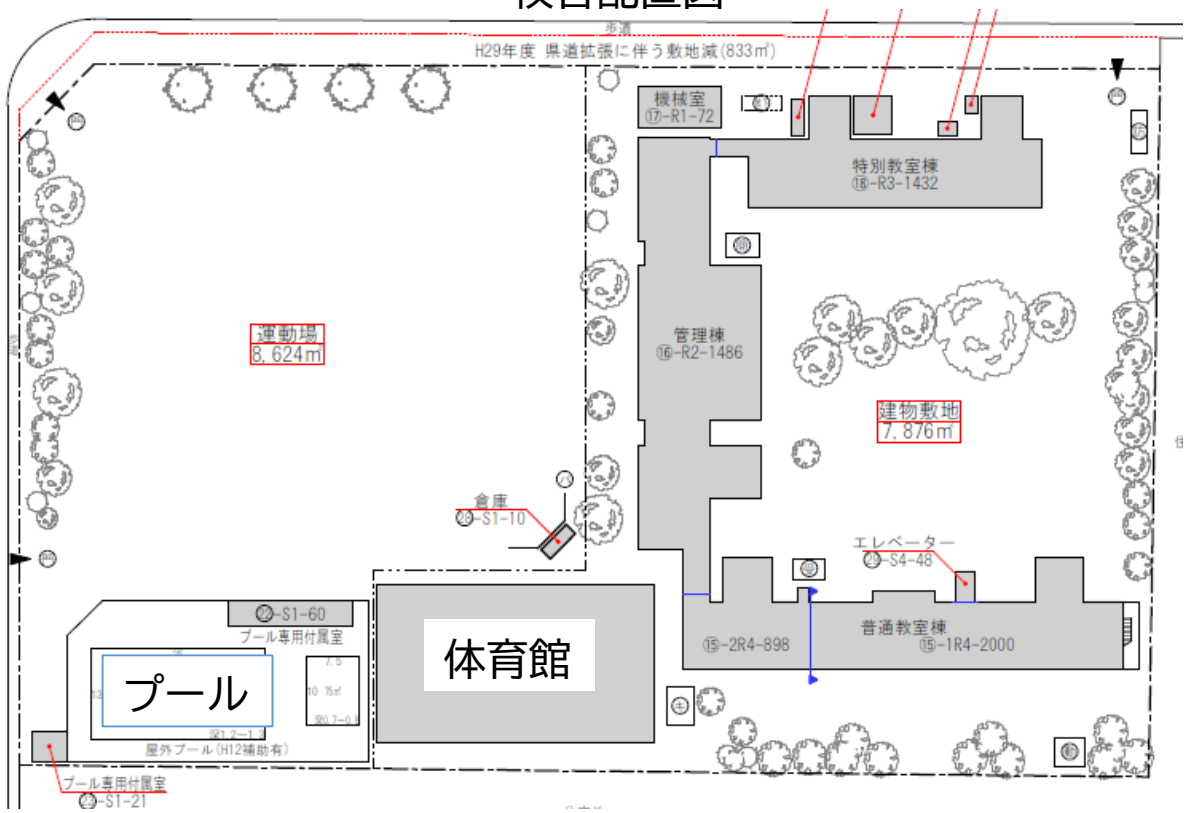


条件２　校舎増築場所の確保

オ　清水小学校　判定×

×校地に増築スペースがなく、教室棟と接続させて増築することが困難（プールは継続使用予定）

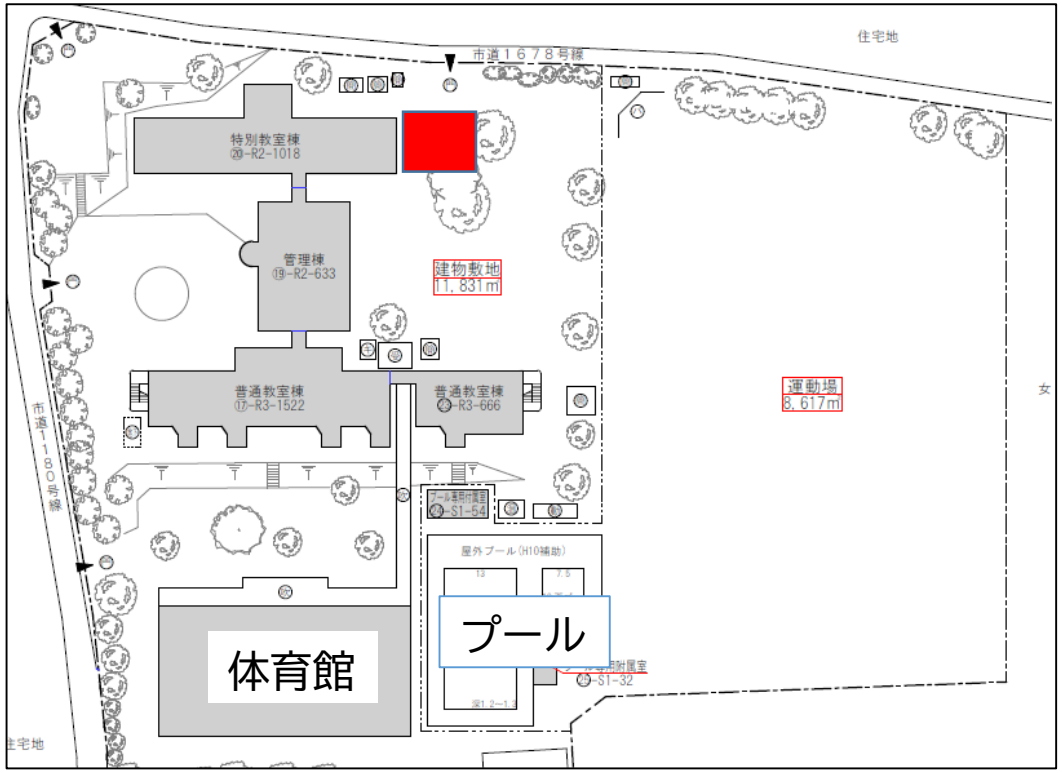
校舎配置図



カ　岡田小学校　判定△

△特別教室棟への接続が可能（プールは継続使用予定）

校舎配置から想定される増築場所



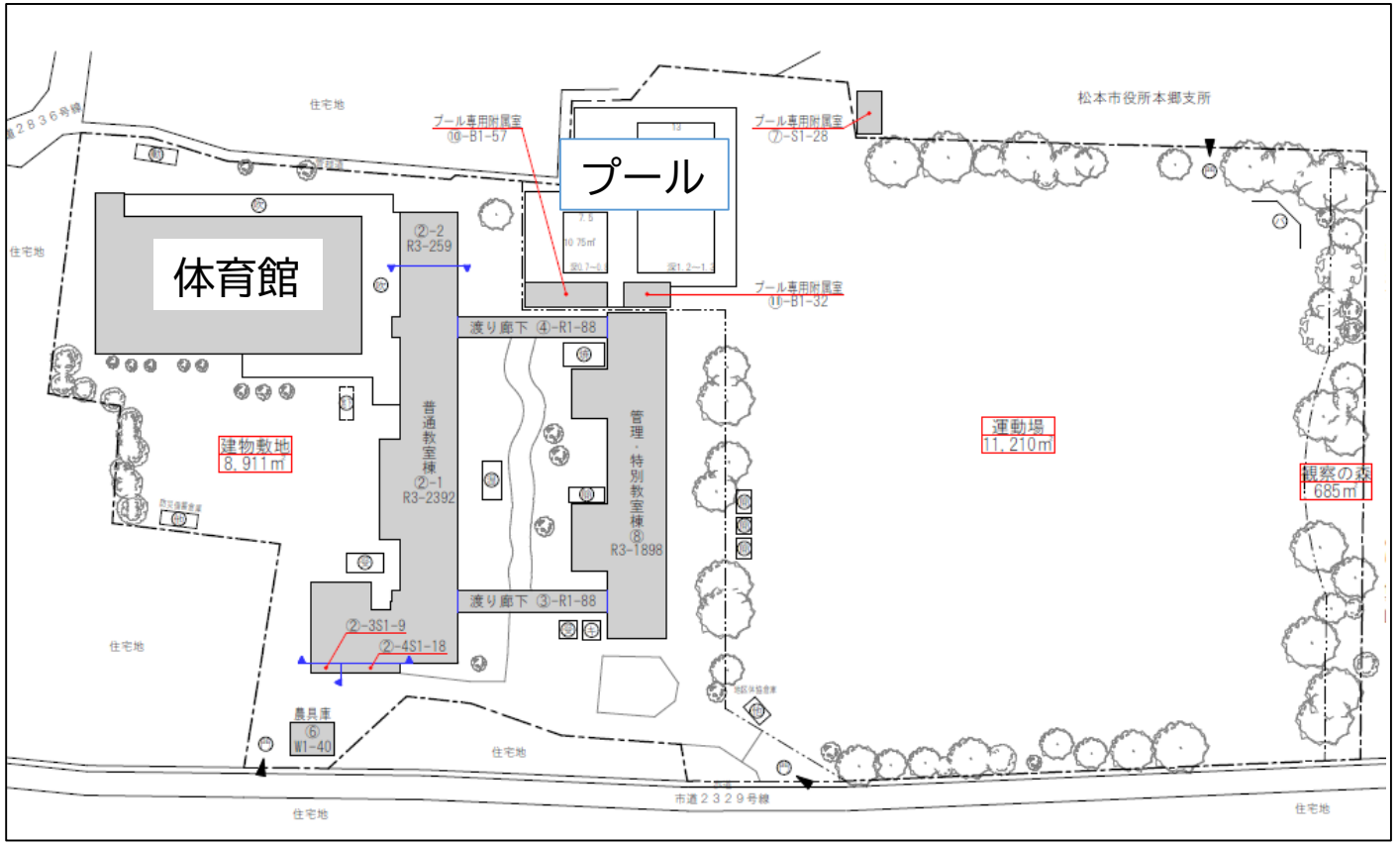
※　プールは継続使用予定

条件２　校舎増築場所の確保

キ　**本郷小学校**　判定×

×校地に増築スペースがなく、教室棟と接続させて増築することが困難（プールは継続使用予定）

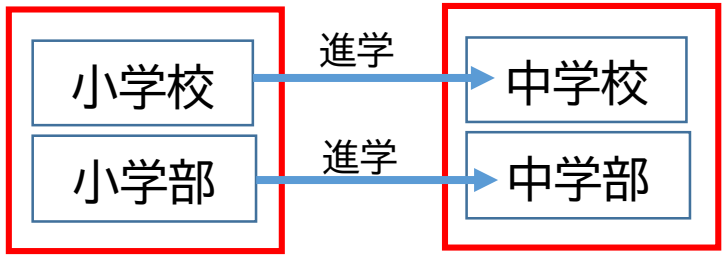
校舎配置図



条件３　中学部の検討（同学年と継続して学ぶ）

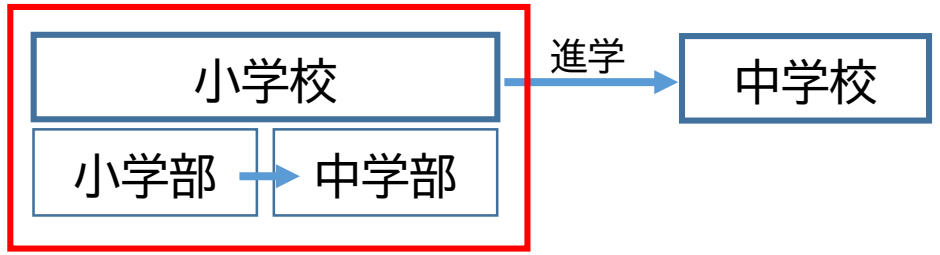
① 同学年での学び合いができる環境とするため、特別支援学校の小学部は小学校に併置、中学部は中学校へ併置

小学部、中学部をそれぞれ小学校、中学校に併置する場合



○中学校、中学部への進学時に友人関係が継続しやすい。

小学校に、小学部、中学部を併置する場合



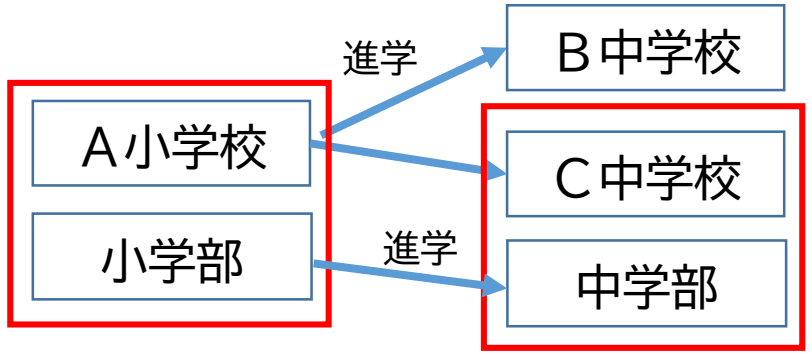
△中学校・中学部への進学時に友人関係が継続しにくい。
△中学部生徒と小学校児童では、年齢差あり活動がしづらい。

② 友人関係が継続するよう、小学校の卒業生が多く進学する中学校に中学部を設置（小学校と中学校間の接続）

○源池小学校は清水中学校に、岡田小学校は女鳥羽中学校に90%以上進学

△開智小学校は、旭町中学校と丸ノ内中学校に分かれて進学

小学校と中学校の接続の例



条件３　中学部の検討（同学年と継続して学ぶ）

ア　開智小学校 ⇒ 旭町中学校　判定△

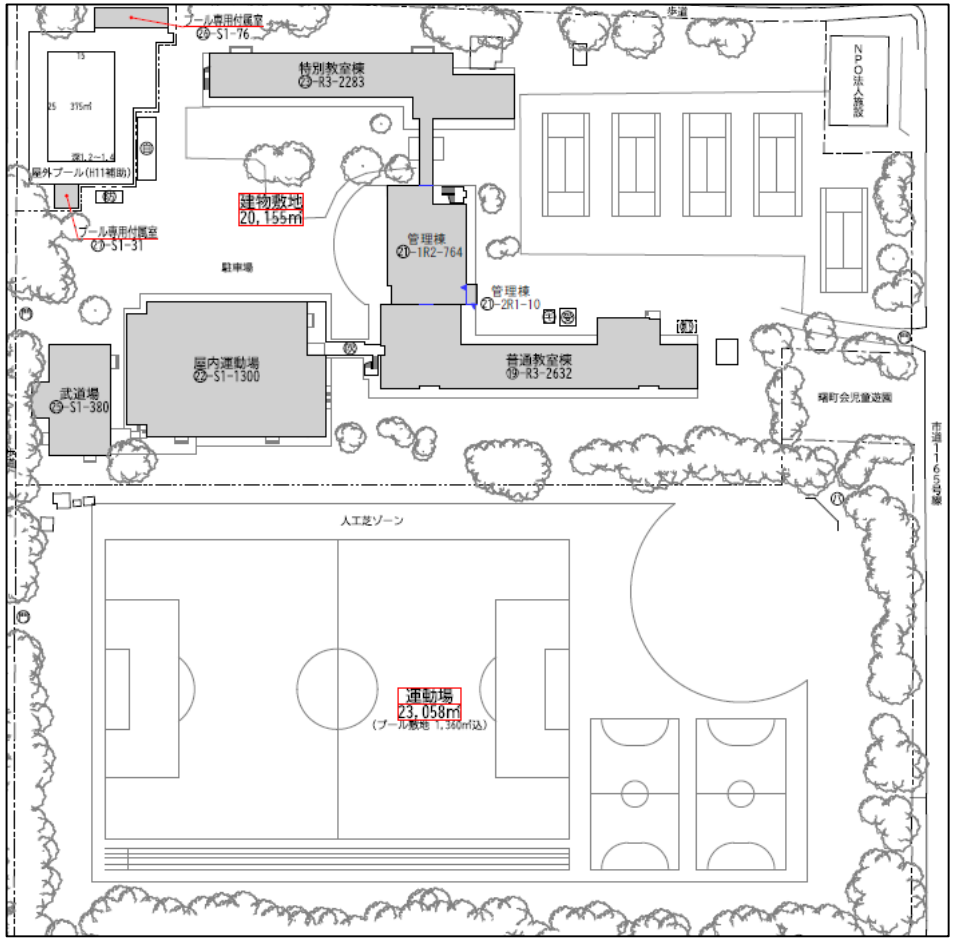
旭町中学校概要

□所在地　松本市旭3丁目7-1
□児童数　312名（R7.4）
□学級数　14（通常学級9、特支学級5）
□学校施設
　建築年度　S58年度
　長寿命化改良事業　R15年度以降（予定）

条件２　△校地に余裕はないが、プールを廃止することで、特別教室棟への接続は可能（プールは廃止予定）

条件３　△開智小から共に進学できる割合は50%程度で、小・中学校間の接続性が低い。

旭町中学校校舎配置図



条件３　中学部の検討（同学年と継続して学ぶ）

イ　開智小学校 ⇒ 丸ノ内中学校　判定△

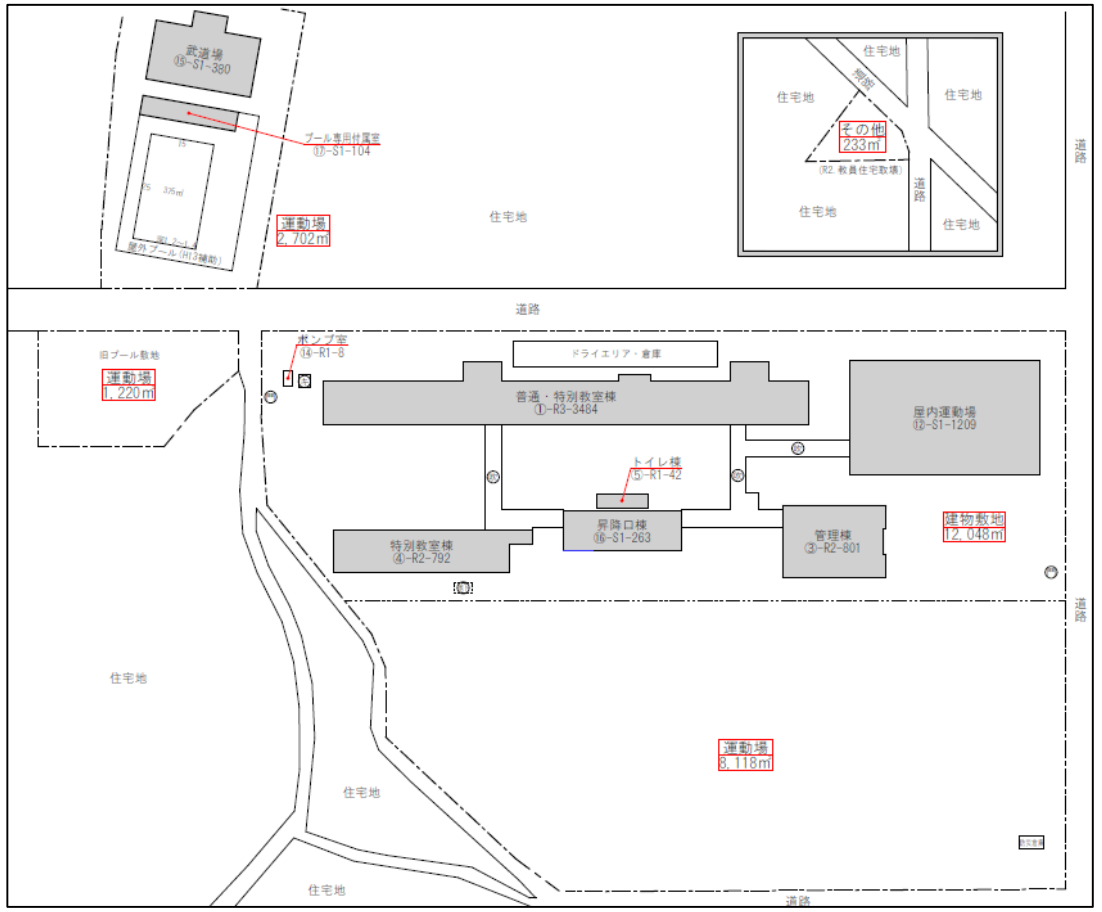
丸ノ内中学校概況

□所在地　松本市宮渕3丁目6-1
□児童数　220名（R7.4）
□学級数　10（通常学級6、特支学級4）
□学校施設
　建築年度　S25年度
　改築事業　基本計画・基本設計策定中

条件２　△改築事業の基本計画・基本設計に着手しており、計画変更は困難
△校内及び周辺に傾斜が多い。

条件３　△開智小から共に進学できる割合は50%に満たず、小・中学校間の接続性が低い。

丸ノ内中学校校舎配置図



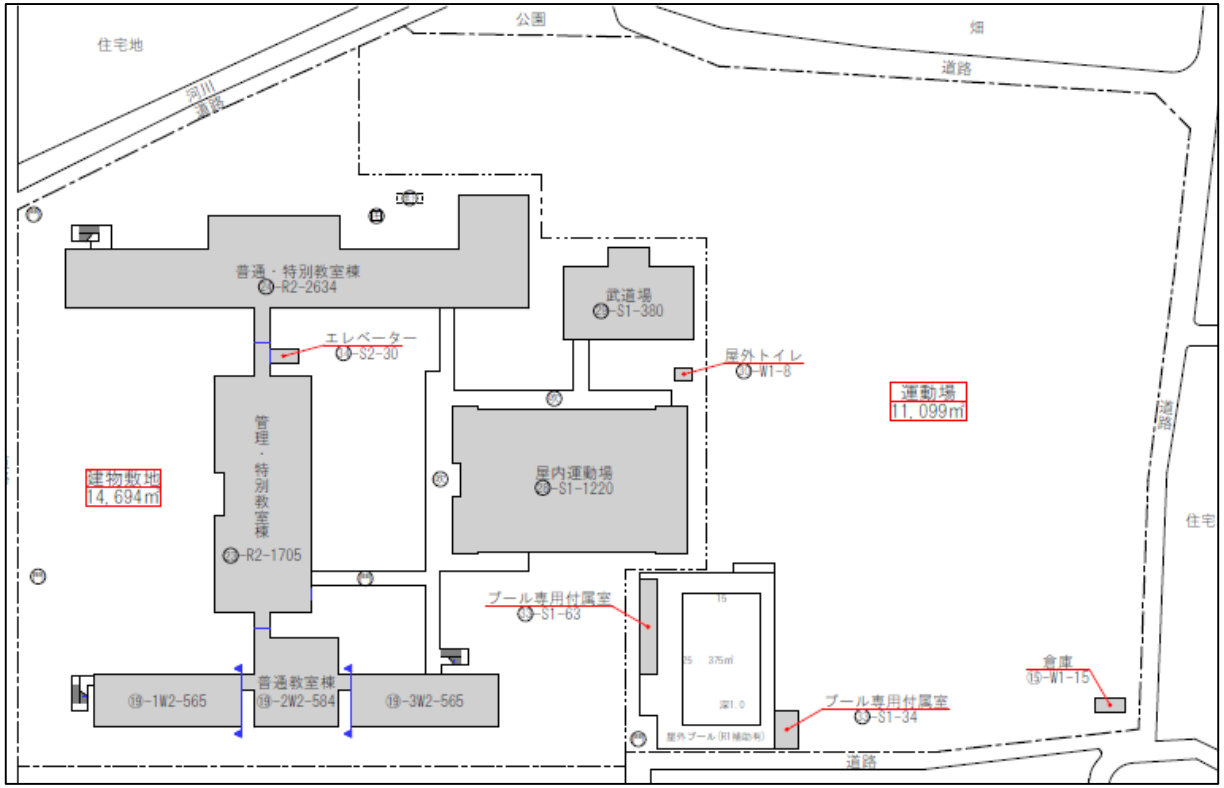
条件３　中学部の検討（同学年と継続して学ぶ）

ウ　源池小学校 ⇒ 清水中学校　判定〇

清水中学校概況

□所在地　松本市清水2丁目7番12号
□児童数　367名（R7.4）
□学級数　17（通常学級11、特支学級6）
□学校施設
　建築年度　S61年度
　長寿命化改良事業　R10年度（予定）

清水中学校校舎配置図



条件２　〇校地の使い方に比較的余裕がある。
　　〇エレベーター設置済み

条件３　〇源池小から共に進学できる割合は90%以上で小・中学校間の接続性が高い。

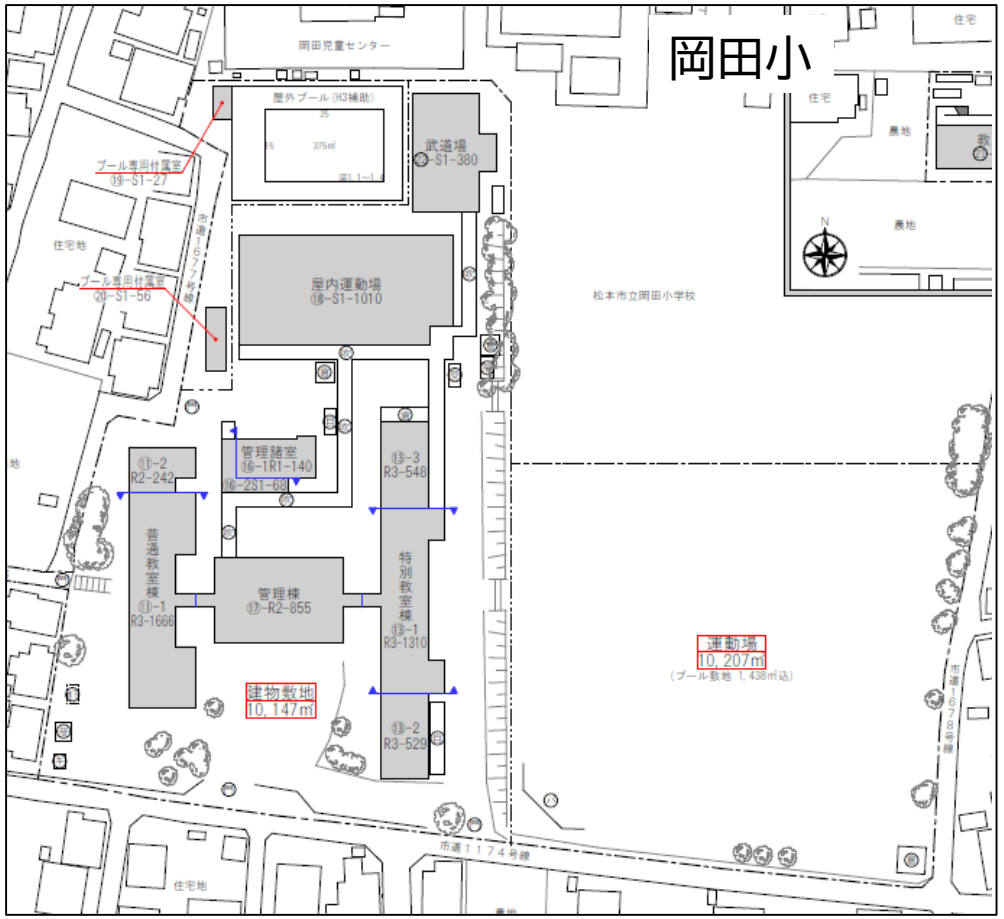
条件３　中学部の検討（同学年と継続して学ぶ）

エ　岡田小学校 ⇒ 女鳥羽中学校　判定○

女鳥羽中学校概況

□所在地　松本市原1085番地2
□児童数　322名（R7.4）
□学級数　16（通常学級11、特支学級5）
□学校施設
　建築年度　S57年度
　長寿命化改良事業　R15年度以降（予定）

女鳥羽中学校校舎配置図



条件２

△校地に余裕がない（プールは廃止予定）。
△岡田小、女鳥羽中の周辺道路に狭あい箇所が多い。

条件３

○岡田小から共に進学する割合は90%以上
○岡田小と一団の土地にあり、屋外運動場（グランド）を共有するなど、小・中の一体感が高い。

３校の比較検討結果

小学校	中学校	条件１ 市北部地域への設置	条件２ 校舎増築場所の確保	条件３ 同学年と継続して学ぶ
開智小	旭町中	○	○ 教室棟に接続した増築が可能	△ 旭町中 50%以上
	丸ノ内中			△ 丸ノ内中 50%未満
源池小	清水中	○	○ 教室棟に接続した増築が可能	○ 清水中 90%以上
岡田小	女鳥羽中	○ 中学校が隣接	△ 特別教室棟に接続した増築が可能	○ 女鳥羽中 90%以上

比較検討結果のまとめ

候補地となる小学校を比較検討した結果は下記のとおり

	条件１ 北部方面への設置	
	北部に立地	市街地に立地
開智小	○	○
源池小	○	○
旭町小	○	○
清水小	○	○
田川小	○	○
島内小	○	×
岡田小	○	○
山辺小	○	×
本郷小	○	○

条件２ 校舎増築場所の確保
○
○
×
×
×
△
×

条件３ 同学年と継続して学ぶ	
小中併置	小中接続
○	△
○	○
△	○